## ミニ講話

# 高齢者、 どうすれば防げるか、また被害にあってしまったらどうするか? 特に認知症高齢者の消費者被害が増大

宮下 修一先生

中央大学法科大学院教授

7・3%を記録し、今や国民に4人に1人以上が に占める割合) は、2016年には過去最高の2 高齢者という時代を迎えています。 日本の高齢化率(65歳以上の高齢者が人口

悪質な消費者被害も増えています。2016年 5%と、全相談件数の実に3割近くに及んでい らも年々増えてきています。 と確実に把握できたのは、8796件です。こち ます。このうち、認知症の高齢者が相談者である 件近くの相談のうち、65歳以上の相談は27 に全国の消費生活センターに寄せられた89万 それとともに、高齢者にターゲットを絞った

題がありますが、①自宅を訪れた事業者に不要 高齢者を狙った消費者被害にはさまざまな問



宮下修一先生

とができるでしょう。 で勧誘されてよくわからないまま商品を買 品を大量に買わされる「過量販売」、 で消費者被害を引き起こしているというこ する相手もいない高齢者の状況につけ込ん る被害が目立ちます。いわば、 齢者については、特に①「訪問販売」によ くらべると多くなっています。 わされる「電話勧誘販売」が、他の年代に な商品を買わされる「訪問販売」、②同じ商 十分な判断力を持たず、 かつ、 周囲に相談 認知症の高 事業者が ③ 電 話

について考えてみたいと思います。 あってしまった場合にはどうしたらよいか するとともに、そのような被害にあわない 齢者を狙った消費者被害の実態を明らかに ためにはどうしたらよいか、また、 今回のミ二講話では、こうした認知症高 被害に

れ、静岡では、静岡市消費生活審議会委員 用状況に関する検討会委員などを歴任さ を務めておられます。 されています。消費者庁・消費者契約法の して、消費者保護のために全国的な活躍を 宮下先生は、中央大学法科大学院教授と

### 2月のイヴェント

### 小山貢左衛門さんの津軽三味線



小山貢左衛門さんは、SBS 学苑 津軽三味線の講師を十数年間務 めている方です。

津軽三味線は、今や日本を代表す る民族楽器で、若者にも大変人気 があります。

今月は、小山さんの津軽三味線を 鑑賞しましょう。また三味線の伴 奏で民謡を歌いましょう。

自己紹介(上の絵は、小山さんが描いた自画像です) 津軽三味線を演奏することは、私にとっては、自己表現の一 つであります。それには、三つの大事な要素があります。

一つ目は、「身」→メロディ、スピード、テクニックなど一番解り やすくて具体的なものです。二つ目、「心」→その音色に津軽 の景色が観える具象的な見え難いところです。三つ目の「芯 (しん)」は、聴いてる人達に、懐かしさや感動を与える抽象的 な見えないところです。

この三つの身→心→芯を、私の中では「津軽三味線の、さん しん」と名付けております。最高の演奏は、三つの「しん」「さん しん」をバランスよく演奏する事です。

民謡は心の故郷です。ちゃっきり節、ソーラン節、炭坑節な どの民謡で、唄ったり踊ったりして、楽しんでもらいたいと思って います。

のようにすればよいかが分からなくなったとしたのようにすればよいかが分からなくなったとしたった本人が一番困っているのではないでしょうか。自った本人が一番困っているのではないでしょうか。自けれど考えてみれば、介護する人以上に認知症になに思われます。 うまく伝える方法もなく、行きたい所へ行こうにすればよいかが分からなくなったとした たどか自な

> して、落ち込んでいるのに、辛いだろうと思い自分の思い通りにならないことでいらいら「そんなこともできない」と非難される・・。 同じことを言った」と、もの忘れだと言 の忘れだと言わ と相手にされず、 あるいだが、「まれ はた

という考えを持っているよう理解できない行動に介護する

い、その人の行動には目)人は、自分が何を考えて

由を探り理解することが、その混乱や困惑を解理由があります。本人がうまく表現できない理感じ、生きている世界があります。何かをする他の人からは不可解に見えても、本人には見て「認知症」は、誰もがなる可能性があります。 消することにつながるでしょう 「認知症」は人格の喪失ではないのです。

静岡市葵区城東町 34-14

# 城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主 催 特定非営利活動法人

ヒューマン・ケア支援機構

**2** 090-5620-6070 連絡先

orange@npo-humancare.jp



バスでお越しの場合、静岡駅北口5番、 全てのバスがご利用可「巴町」下車